

1. 山田町の現状・課題

＜山田町の強み＞

- ① 海と山に囲まれて育まれた豊富な農林水産物がある。
- ② 豊富な一次産品を活用した様々な加工品が充実している。
- ③ 豊かな自然を活かした様々な体験アクティビティが充実している。
- ④ 都会から行くのが難しい代わりにディープな魅力が盛り沢山である。
- ⑤ オランダ島など特徴的な歴史ストーリーがある。



図 豊富な海産物とその加工品

図 数多くの受賞経験がある乾しいたけ

図 町の魅力を知る体験アクティビティ

＜課題＞

- ① 人口減少社会において、強みである一次産業の生産基盤体制の強化が求められる。
- ② 観光客を迎え入れるメインとなる観光拠点施設の設置が求められる。
- ③ 交通インフラ環境の激変という好機を活かすことが求められる。
- ④ 増加するクルーズ船の利用客を取り込むことが求められる。

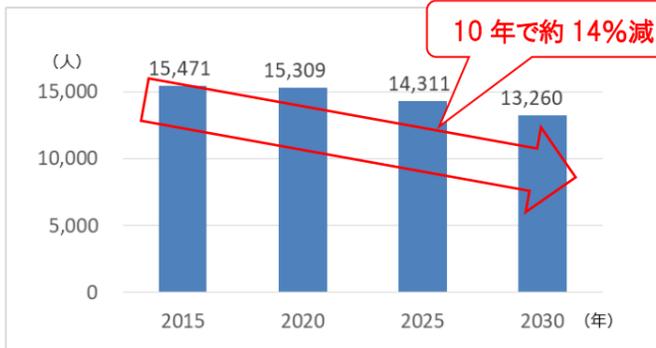


図 山田町の将来人口予測



図 町内の物産・観光施設位置図



図 クルーズ船寄港時におけるオプションツアー立寄地

2. 整備目的・整備方針

**整備目的：**変化する交通インフラ環境に対応し、山田町に沢山の人の呼び込み、沢山の人の喜んでもらう仕組みをつくります。

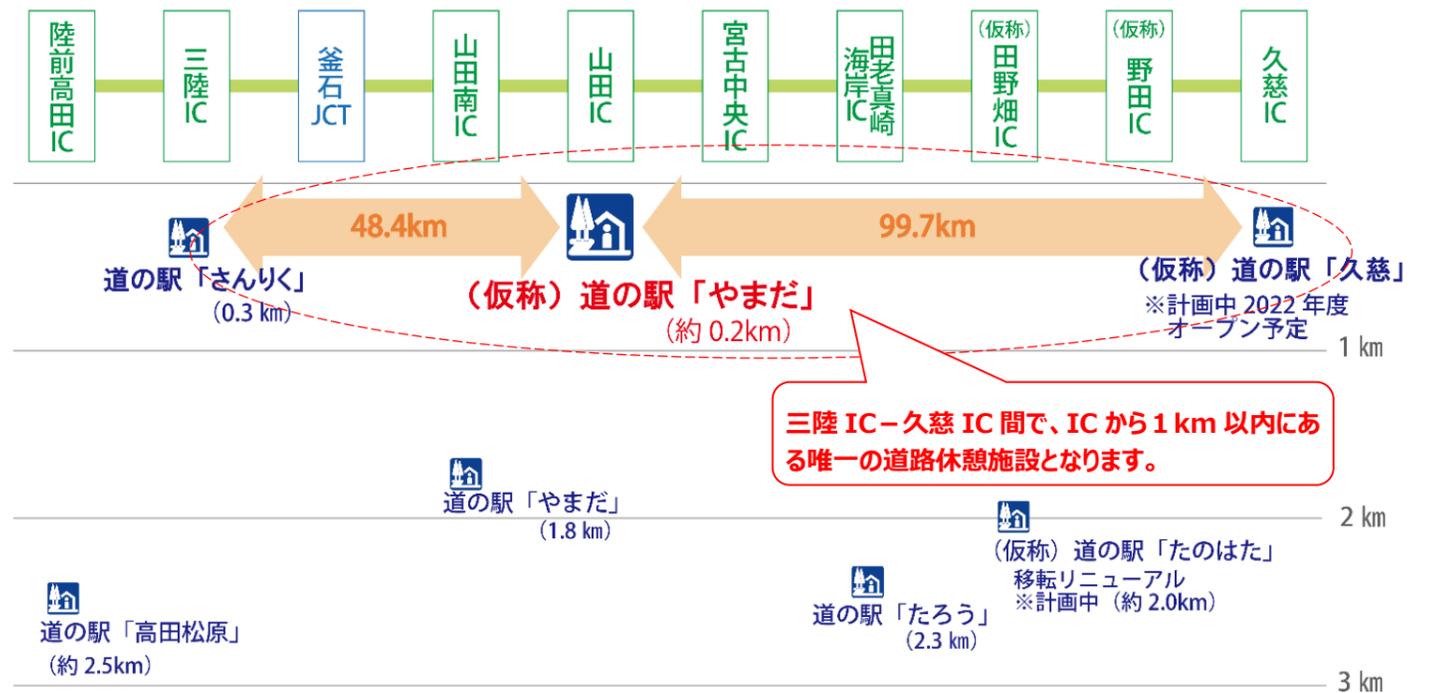
- ・三陸道が全通することで、多くの観光客が山田町に来やすくなります。そうした外の方をおもてなしし、喜んでもらい、また来てもらう、そして地域の生産者・事業者の方も元気になる、そのような良い循環を生むことができる施設整備を目指します。
- ・地元の方が日常的に憩い、楽しみ、喜ばれる施設整備を目指します。

**整備方針：**山田町は「新たな観光拠点」を「道の駅」として整備します。

- ・事業予定地は、三陸沿岸道路 山田 IC 直近の前県立山田病院跡地とし、三陸沿岸道路に隣接している好条件を最大限活かした施設とします。
  - ・新たな観光拠点は、「道の駅」としての施設整備を目指します。
  - ・既存の道の駅「やまだ」、観光物産館「とつと」の機能移転・集約を目指します。
- ※船越にある現道の駅施設の在り方については、引き続き別途関係機関と協議します。



図 事業予定地



三陸 IC - 久慈 IC 間で、IC から 1 km 以内にある唯一の道路休憩施設となります。

復興道路立ち寄りマップ（岩手県沿岸広域振興局）より作成  
上記資料未掲載の施設に関しては googlemap で凡その距離を計測

図 三陸道 IC と道の駅の距離関係

### 3. 整備コンセプト

現状と課題や道の駅のトレンド、上位・関連計画等を踏まえ、整備コンセプトを以下のように定めます。

#### 「また来たくなる、山田町のディープな魅力が詰まった賑わいの拠点」

- ・「地元客」の方に喜ばれる施設であることを前提とします。地元の方が楽しみ、様々なことに参画できる拠点を目指します。
- ・そのうえで、持続的な運営を実現するため、「観光客」「通過客」の方にも多く利用してもらうことを目指します。
- ・たまたま立寄った「通過客」が、山田町に感動し、再び町内を周遊してもらえるような仕組みを構築します。

町の生鮮食品や特産品が勢揃い、ここに来れば山田町の全てが揃う、地方発送もお手のもの！

**物流・物産の拠点**

山田町ならではの食べ方、遊び方などが気軽に楽しめる！

**体験の拠点**

町の若い人が、町に無い新しいことに挑むことを後押しする！町の人も楽しんで参画できる！

**挑戦の拠点**

町の旬な情報、様々な観光資源や体験ツアーを紹介する！また来たいと思わせる重要な仕掛け！

**情報発信の拠点**

### 4. 施設の配置方針

施設の配置方針は、以下の内容を基本とします。

※施設規模は、近隣の道の駅の規模等を参考にしながら、基本計画の中で詳細に検討していきます。

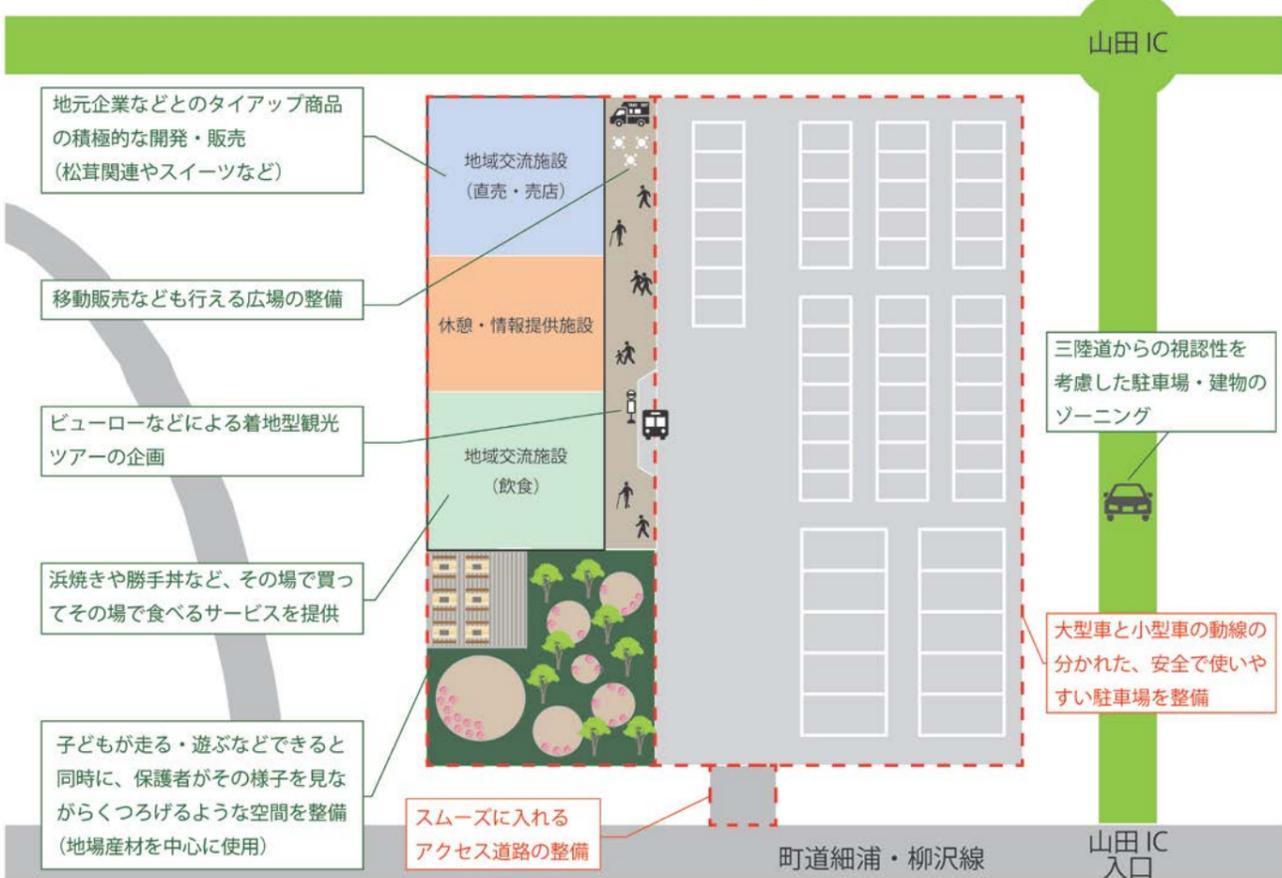


図 配置方針イメージ図

### 5. 導入機能の基本方針

- ・新たな道の駅は、道の駅の基本6機能（駐車場、トイレ、休憩施設、情報施設、食事機能、産直機能）を備えることを基本とします。
- ・その他の必要な機能については、基本計画検討の中で、様々なご意見をいただきながら補強・追加していきます。また、都市計画区域内であり、周辺にある店舗との機能分担も考慮しながら整理します。

基本6機能		導入する機能の例と考え方
1	<b>駐車場</b> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道路利用者のための休憩施設として、適切な規模の駐車台数を確保します。</li> <li>・歩行者と自動車の動線を適切に分けることで、場内の交通事故発生を防止に努めます。</li> <li>・誰でも安心して利用できるよう、身障者用駐車スペースを確保します。</li> </ul>
2	<b>24時間トイレ</b> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お客さんの多くは、トイレ休憩を目的とした「通過客」と想定します。</li> <li>・そのため、24時間トイレは、「また利用したい」と思わせるような、印象的で清潔で維持管理しやすい、綺麗なトイレを目指します。また、身障者でも利用しやすい空間及び導線の確保を図ります。</li> <li>・トイレに併設して、授乳室やオムツ換えスペースを設置します。男性・女性分け隔てなく育児に参加することができるような設備とします。</li> </ul>
3	<b>道路・休憩施設</b> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道路混雑等道路情報に関する各種情報をわかりやすく発信するよう、情報端末を目立つ場所に設置します。24時間トイレへ行く動線上に配置します。</li> <li>・道路利用者が寛げるようなスペースとします。</li> <li>・地域観光情報施設、飲食コーナーと一体の空間とし、広々とした空間構成とします。</li> </ul>
4	<b>地域観光情報施設</b> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の観光情報を紹介するコーナーとして整備します。当施設計画で、力を入れるべき機能となります。</li> <li>・「通過客」の方に、「今度は山田町に来て楽しみたい」と思わせる、訴求力の高いライブ感のある観光PRができる空間を造ります。【山田町オリジナル機能】</li> <li>・地元の方々が、談笑可能なフリースペースも兼ね、観光客と地元客の交流場所とします。</li> </ul>
5	<b>飲食コーナー</b> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・山田町ならではの食べ方、食事ができる空間とします。具体的には、「とっと」で行われているような「浜焼き」「バーベキュー」のようなサービスを想定します。【山田町オリジナル機能】</li> <li>・産直コーナーにある様々な一次産品、加工品、ご飯のお供を産直で購入し、すぐ食べることができるようなサービスを想定し、広い空間を確保します。</li> <li>・若者のチャレンジ支援のひとつとして、山田町に少ない洋食・喫茶店など、誰もが憩える施設機能のテナント出店を誘導します。【山田町オリジナル機能】</li> </ul>
6	<b>産直・直売コーナー</b> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営者による積極的な商品PRが行われることを想定し、港町らしい、賑やかな売り場空間とします。地場産材を最大限活用します。</li> <li>・海の幸を視覚的に楽しめ、かつ、新鮮な状態でお届けできるような設備の導入を検討します。【山田町オリジナル機能】</li> <li>・地元高校生等とタイアップし、これまで町になかった商品の開発に取り組みます。【山田町オリジナル機能】</li> </ul>